

ウェブサイトはこちら!



福島第一原子力発電所で働く  
みなさんへのお知らせ

2017年



# 月刊 いちえふ。



# 5

月

## INDEX

### ■ いちえふのいま

2号機の建屋内滞留水の状況

### ■ 1Fを守る仲間たち

- H4エリアの汚染土の移動作業に携わったみなさん
- 圧力・格納容器の温度計設置工事に携わったみなさん

### ■ KY Book【第1回】

### ■ いこいの時間

まちがい探し

プレゼント

福島名産のお菓子の詰め合わせ



## とびっくす



### 雨天時は気を付けて歩きましょう

足元が滑りやすいだけでなく、見えづらくなっています。滑らないように気を付けつつ、つまずきにも注意しましょう。



### リアル宝探しイベント コードF-7

地図を手がかりに、福島県内18エリアに隠された宝箱を探す宝探しゲームが9月24日まで開催中です。



<http://www.takarush.jp/promo/fukushima7/>



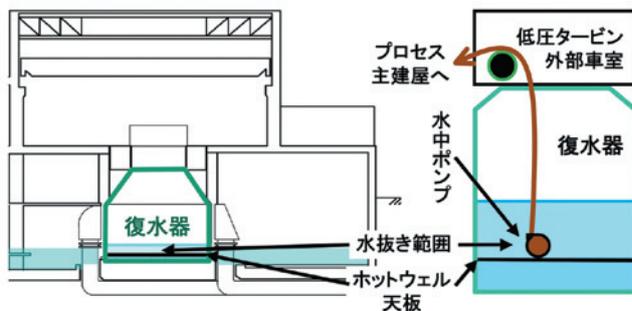
### 早めの水分補給を心がけましょう!

これから梅雨が近づき、熱中症への注意が必要です。屋外作業だけでなく、高温多湿な室内においても早めの水分補給を心がけましょう。



## いちえふのいま

## 2号機の建屋内滞留水の状況



2号機 タービン建屋断面図

復水器拡大図

高線量の汚染水が貯留している復水器内のホットウェル天板上部の水抜きを行い、移送を完了しました。

今後も1号機の建屋内滞留水除去の経験をふまえ、処理を進めていきます。

4/23にJAEA※国際共同研究棟が富岡町に開所しました。国内外の英知を結集させ、安全かつ確実に廃止措置などを行うための研究開発と人材育成を行う中心拠点となります。

復水器からの水抜き状況

※JAEA: 日本原子力研究開発機構



## みんなの知恵を集め、汚染土を うまく取り扱う工夫ができました

除染作業が進み、1F構内の多くの場所では軽装で作業ができるようになりました。しかし、削り取った地表の土は、線量が高く取り扱いが難しいのが現状です。今回は、汚染土の移動や、汚染土を保管しているH4エリアの角形タンク撤去作業などを担当しているみなさんにお話をうかがいました。

— どういう仕事をされているのですか。

内山さん：これまで汚染土は、1F構内にある42㎡の角形タンク12基に詰められてきました。ですが、このタンクを解体させるには、汚染土をどこかに持っていかなくてはなりません。そこで私たちが行っているのが、化学繊維製の丈夫な袋に汚染土を詰める作業です。

関根さん：汚染土を詰めたフレコンバッグは、ひとまず角形タンクの中に保管します。ただ問題なのは、汚染土の放射線量が高いので、作業員が角形タンク内に入りスコップなどで汚染土を袋詰めできない点です。

### メッセージ

ここ数年で目に見えて放射線量も下がってきました。今後も、廃炉に向けて頑張ります。



(写真左から)

うちやま よしひろ 内山 善浩さん(新建設) ぶくし いさむ 福士 勇さん(高橋建設)  
せきね よしあき 関根 義昭さん(大成建設) ふじた ひろし 藤田 広さん(真和建設)  
うえの あきのぶ 上野 明伸さん(南信重機興業)



このメンバーで協力し、汚染土の移動作業に取り組んでいる

藤田さん：そこで、重機の操作員である私と上野さんが、油圧ショベルで土を袋に詰めています。線量の高い場所なので、防護服を着て全面マスクをしながらの操作になります。

福士さん：私の仕事は、角形タンクを解体する手順を考えることです。安全を第一に計画を立てています。

### 全員がけがなく無事に宿舎に帰ることが喜び

— どんなときに一番やりがいを感じましたか。

内山さん：作業員をまとめる立場ですから、全員けがなく作業を終え、無事に宿舎に帰ったときですね。

上野さん：私はタンクを解体するクレーンの操作員として1Fに来ました。解体するタンクには汚染水が残っているので、組み立てよりも神経を使います。無事にそのエリアの解体が終わったときは、みんなで喜びを分かち合いました。

### お仕事内容

#### H4エリアの汚染土の移動作業

H4エリアの角形タンク内の汚染土を移動させる作業を実施。大成建設と協力企業が第一段階として、汚染土を袋詰めにする作業を行った。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください  
URL: <http://1f-all.jp/interview/28/>

## 29 圧力・格納容器の 温度計設置工事に携わったみなさん

### 短時間で効率よく仕事をするために 事前のミーティングが重要

原子炉が安全な状態に保たれているかどうかを確認するには、原子炉を収めている圧力容器や、それを覆う格納容器の温度を測ることが非常に重要です。そうした温度計の設置作業のほか、電気系統の設備工事などの仕事をしているのが、今回ご紹介する東芝とその協力会社の方々です。

—— お仕事の内容を教えてください。

**西村さん**：電気計装設備の工事・試験を取りまとめています。電気計装設備の据え付け、ケーブル・配管敷設などを実施後、試験に移管された設備が正常動作することを確認しています。

**渡邊さん**：現在は、震災直後から使っていた使用済燃料プール冷却設備を除却する工事を行っています。また、2、3号機PCVガス管理設備の制御盤がより確実に作動するように、同じものを2系統つくる二重化工事を行っています。

**久保田さん**：私は、2016年12月からプロセス建屋（集中廃棄物処理施設プロセス建屋）の低圧電路接地工事という仕事をしています。

**馬場さん**：2号機の原子炉圧力容器の内部調査の準備段階として、電源ケーブルや調査ロボットを監視するモニター関係のケーブルなどをつなぐ仕事をしてきました。放射線量が多い場所なので、効率的に仕事を進めるように努めています。



### メッセージ

燃料取り出しを一日でも早くできるように、安全にそつなく作業をやっていきましょう。



(写真左から)

にしむら つとむ わたなべ けいいち  
西村 務さん(東芝) 渡邊 恵一さん(協栄工業)  
やまだ かずひろ くぼ たみのる  
山田 一廣さん(東芝) 久保田 稔さん(大和工業)  
ばば ひろゆき  
馬場 裕之さん(ミナミ総合開発)

### 事前に納得できるまで話し合うことが大切

—— 仕事をうまく進める工夫やコツはありますか。

**山田さん**：ミーティングのときに前もって現場の写真を確認したり、その場の様子の説明をしっかりとすることですね。現場で作業できる時間は限られていますから、その場に行ったら、迷うことなく作業に取りかかれることが何よりも大切だからです。

**西村さん**：とくに、ミーティングで納得できるまでよく話し合うことが大切です。現場に着いたら、余計なことを考えずに、決まったことを速やかにやり遂げることが第一です。

#### お仕事内容

#### 圧力・格納容器の温度計設置工事

原子炉圧力容器や格納容器に温度計を設置したり、温度計の交換や管理をするなど、東芝と協力企業が分担して作業に当たっている。

● 続きはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」でお読みください  
URL: <http://1f-all.jp/interview/29/>



第1回

### セルフチェック (STAR)

実行に移る前に意識を集中し考えるために、「作業の開始時」<sup>きょうしけい</sup>「休憩の後」<sup>きゅうけい</sup>「現場の状態が変化するとき(雨、風、雪、気温など)」<sup>じやうば</sup>「作業の終了時」<sup>しゆうじ</sup>には、セルフチェック (STAR) を行いましょう。

ストップ  
**Stop**  
(立ち止まる)



注意散漫な状態を排除する

シンク  
**Think**  
(考える)



何が起るか理解する

アクション  
**Action**  
(行動する)



正しい行動を実行する

レビュー  
**Review**  
(振り返る)



その結果を検証する

## いこいの時間

## まちがい探し

今月はまちがい探しです。「尾瀬ハイキング」の絵が2つ。とてもよく似た絵ですが、まちがいがかくかいて隠れています。まちがいがかくかいて何個あるかわかりますか？



### ▶ 応募方法・プレゼントのお受け取り方法

正解した方の中から抽選で5名様にプレゼントをさしあげます。

入退域管理棟、福島第一登録窓口通用口にある応募箱に必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

応募箱設置期間 5月19日～6月2日

- \*応募用紙は応募箱横に設置しています。
- \*当選者の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。
- \*答えはウェブサイト「1 FOR ALL JAPAN」新着情報で発表します。

### ▶ 今号のプレゼント

福島名産のお菓子の詰め合わせです。

※賞品は写真と異なる場合がございます



1FOR ALL JAPAN  
鹿島のいま、あした

ウェブサイトの紹介

<http://1f-all.jp/>

福島第一原子力発電所の廃炉事業を進める作業員のみなさんに、働く仲間や応援者のメッセージを伝えるため2015年10月に開設した「1 FOR ALL JAPAN」です。ウェブサイトでも本誌でも、作業員のみなさんを応援していきます。



月刊いちえふ。  
2017年5月号

【発行日】2017年5月20日

【発行】

1 FOR ALL JAPAN 事務局  
(東京電力ホールディングス SC室)

【お問い合わせメールアドレス】  
info@1f-all.jp